

## 2020年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名：詳細環境調査

調査媒体：水質 (ng/L)

地方公共団体：大阪市

調査地点：大阪港

調査対象物質	測定値	報告時 検出下限値	検出下限値
[1] アニリン	59	6.4	14
[4] 二硫化炭素	230	4.9	4.2
[6-1] フタル酸ジメチル (別名：ジメチル=フタラート)	※7.9	5.8	11
[6-2] フタル酸ジエチル (別名：ジエチル=フタラート)	25	23	23
[6-3] フタル酸ジイソブチル (別名：ジイソブチル=フタラート)	76	20	26
[6-4] フタル酸ジ-n-ブチル (別名：ジブタン-1-イル=フタラート)	110	18	18
[6-5] フタル酸ジ-n-ヘキシル (別名：ジヘキサン-1-イル=フタラート)	nd	6.3	6.3
[6-6] フタル酸ジオクチル類 (別名：ジオクチル=フタラート類)	nd	130	130
[6-6-1] フタル酸ジ-n-オクチル (別名：ジオクチル-1-イル=フタラート)	nd	7.9	7.9
[6-6-2] フタル酸ジ(2-エチルヘキシル) (別名：フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)又はジ(2-エチルヘキサン-1-イル)=フタラート)	nd	190	190
[6-7] フタル酸ジノニル類 (別名：ジノニル=フタラート類)	nd	82	82
[6-8] フタル酸ジデシル類 (別名：ジデシル=フタラート類)	nd	27	27
[6-9] フタル酸ジウンデシル類 (別名：ジウンデシル=フタラート類)	nd	13	13

(注1) nd：不検出

(注2) ※：参考値 (調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」以上として定量的に検出された値である。